子を洗おう会 aphw 会報

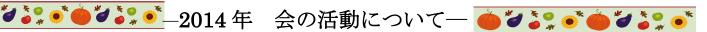
Association for the Promotion of Hand-Washing



テーマ: 手を洗おう 最優秀賞 セネガル パップ・サンバ君(10歳)の作品

< 地球の為、皆の幸せの為に 手を洗いましょう! >

第十一版 2014年9月発行



初秋の候、会員の皆様におかれましてはご健勝のこととお喜び申しあげます。 絵画展を通して子供たちの眼が世界へ向けられるようにと絵画応募を初めて10年。 今年は絵画展十周年を記念して「手を洗おう」と題した 50 点の入選作品他、衛生 支援の活動写真や過去の優秀作品などを、世田谷美術館と溝の口高津市民館にて 沢山のお手伝い下さる協力者の下、それぞれ一週間展示する事が出来ました。 両会場には千人近い方々にご来場いただき、温かいほっこりするご意見を沢山頂き **一巻いのお声をかけていただきました。これだけの集客数を得たのは、会場に展示** された絵画が息遣いの感じる躍動感溢れる作品ばかりであったことに加え、 同時期に世田谷美術館ではジャポニズ展があり、また会員の廣木黄子さんが 「お香の会」を開催下さったお陰でもあります。



<展示した優秀作品>

本年は、絵画展、応募校への手洗い促進活動に重点を置き、本来の活動であるベトナム、セネガルへ の手洗い促進活動は、有形のものを残すプロジェクトを起案。支援している子供たちが、日々自ら率先 して手洗いができるよう「手洗い自立」へ向けてのプロジェクトを熟慮し検討を重ね、具体化へ向けて、 理事一同、力を合わせて慎重に案を練っているところでございます。

最後に絵画展開催中に私が不甲斐なくも発熱し、入院&療養生活を余儀なくした為、会報がお手元に 届くのがこのように遅れてしまいましたことに心からお詫び申し上げます。 古屋 典子





<川崎・高津市民館>

一えのちから 世界子供絵画展―

〈東京・世田谷美術館〉

— 2014年会報目次 —

P 1 2014年 会の活動について 一 古屋典子

手を洗う会 今後の支援 P 2

世界子供絵画展「手を洗おう」 - 入選絵画紹介(一部) P 3

P 4 同

P 5 子供絵画募集&会費納入のお願い

気仙沼・あしのめ学園の手洗い活動 P 6 一 熊谷節子

P 7 宇宙プラズマと未来のエネルギー源、核融合

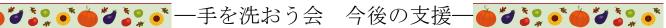
P 8 同 一 山田雅章

P 9 世界の子供からやる気を引き出す 一 税所篤快

P 1 0: セネガルにおける活動報告 一 澤村さち子

P11: 会計報告(2013年1月から12月)





2002年から手洗い促進活動を続けて十二年目。設立当初、セネガルにおける水不足の現状の中、 どのようにして手洗いを促進するかを現地の水組合の方や保健省の方々に伺った結果、先ずは手 洗いの「盥ー手洗いセット(写真右下)を供給し、手洗いを指導する必要があるという結論に達しま した。セネガルの当会では、現地産の石鹸を配布し、支援校や村落で紙芝居(写真下段)をして関 心を持ってもらうようにし、また現地の青年協力隊へも手洗い促進の協力をお願いしました。







<ベトナム友好村で手洗い指導> <セネガル・ストリートチュルドレンに指導> <手洗い用の盥と水入れヤカンセット>





<左&中央―紙芝居を観入る、ナフィサトニアン校の子供達> <右端―タイバンジャイ村の母親に紙芝居で手洗いを指導>

しかし、政府の対応や学校の先生の理解がまだまだ遅れている現地では、なかなか手洗いが定着 せずに今日を迎えています。セネガルやベトナムでの当会の最終目的は、自発的に手洗いができ るよう子供達に習慣づけることーその指導教育は、学校や親の理解がないと不可能です。

現在理事会では、セネガルに於いて自立した NPO セタルハレ(手を洗おう会)が支援する学校の手 洗い躾を徹底する為に専門的なマネジャーを雇い、手洗い教育現状の見直をし、改善をすること、 又ベトナムに於いては枯葉剤の影響を受けた子供たちの滞在する特別養護施設・友好村に手洗い 場を設置し、手洗いの習慣化をもたらすプロジェクトを検討しています。それには精査し、実施 する現地の方々の絶え間ない努力と時間が必要となります。APHW 当会と現地の「人」と「人」 とが繋がる連携をとり、対象国の子供たちが率先して自ら手洗いをするという「手洗いの習慣化」 という最終目的に到達できるよう、善心をもって活動していきます。<理事一同>

<10月15日 世界手洗いの日(Global Hand washing Day)に向けて>

当会では、エボラ熱が流行している中、手洗いの大事さを再認識して頂きたく、海外支援校や国 内絵画応募校や気仙沼の幼稚園へ手洗い促進運動を展開し、ポスターなど配信させて頂きました。 会員の皆様も下記のアドレスから正しい手洗いをダンスと共に楽しんでみませんか。

☆世界手洗いの日:2008年、ストックフォルムで行われていた「世界水週間」の折、PPPHW(Public Private Partnership for Hand washing)によって提唱され、初めての「世界手洗いの日」は、国際衛生年だった同年に国連総会で,10月15日と 約束されました。以来下記のロゴ(水、石鹸、手)と共に、世界のあちこちで10月15日を「世界手洗いの日 (Global Hand washing Day)」として手洗いを促進する運動が起こっている。

http://handwashing.jp/what.html



世界から集まったタイトル:手を洗おう 入選作品の紹介(一部)







最優秀賞 ペトナム リンちゃん 10歳 最優秀賞 日本 空音ちゃん 11歳 最優秀賞 タイ ラックウイット君 7歳







優秀賞 セネガル オマール君 9歳 - 優秀賞 日本 ひかる君 12歳 - 優秀賞 日本 唯ちゃん 11歳







努力賞 日本 与ちゃん 7歳 努

努力賞 タイ タンシータちゃん 81

努力賞 フランス ナタリーちゃん 19



2014年度 第11回 子供絵画募集

子供たちにとって自分の太陽って何かしらとの思いから本年は、「私の太陽」という タイトルで募集することになりました。本年もセネガル、ベトナム、フランス、タイ、 南アフリカそして日本などの小学生から楽しい絵を募集しています。

対象 : セネガル、ベトナム、フランス、南アフリカ、日本など

世界の小学生

題:「私の太陽」

画用紙サイズ:八つ切(A3も可):38 センチ×27 センチ

画材 : 色鉛筆、 絵具など何でも可 **締切日** : 2014 年 1 1 月 30 日(日曜日)



子供絵画の問い合わせ先:

樋口 愛 メールー: ailovebeugue@1999. jukuin. keio. ac. jp

電話:090-4841-3443

送り先:158-0087 東京都世田谷区玉堤1丁目18-35-405

NPO 手を洗おう会 事務所

会員の皆様へ 2015年度の会費納入のお願い

いつも「手を洗おう会 aphw」へのご支援ご協力に感謝いたします。

年会費 : 3,000円 振込み先 : ゆうちょ銀行

郵便局から振り込みの場合

記号:10060 番号:10384361

口座名: トクヒ) テヲアラオウカイアピュー

他銀行からの振込みの場合

店番号 : 008

口座番号 : 普通預金 1038436

口座名: トクヒ) テヲアラオウカイアピュー

★年度会員確認のため、12月15日までにお振込みをお願いいたします。

*領収書が必要な方は、下記担当までご連絡下さいませ。

連絡先:佐藤里美 メール: sucremisucre@gmail.com

募金 「手を洗おう会」では石鹸や洗浄液などをセネガル、東北被災地、ベトナムの学校等への募金をつのっております。一口 500 円から上記の口座で受け付けております。

気仙沼・あしのめ学園の手洗い活動

熊谷 節子

私は、宮城県気仙沼市で葦の芽幼稚園・葦の芽星谷幼稚園の2園を運営する学校法人あしのめ学園で教務主任を務める熊谷です。平成23年3月11日に発生した東日本大震災から丸3年が経過しました。皆様の中にはすでに、いろいろな角度からの報道や各方面からの情報を得たり、あるいは実際に被災地を訪れ現状を見聞きした方もいらっしゃるのではないかと思います。

3年前を振り返ると3月11日は金曜日、私はその日、葦の芽星谷幼稚園にいました。卒園式を控えて練習し、卒園の準備を進めていました。次の日は第2土曜日のお休みで「先生さようなら、皆さんさようなら」と挨拶をして2時に降園しました。

2時46分地震が発生した時、園には約40人の園児が残っていて、揺れが大きく津波が心配されたので先生達と園児を守りながら高台の老人ホームに避難しました。広報無線はほとんど聞き取れずどのような状態なのかを正確にとらえることはできませんでした。保護者の対応のため幼稚園に残っていた先生が気になり、幼稚園に迎えに行きました。玄関を出ようとした時、黒い塊が海の方から押し寄せてくるのが見えました。とっさに机の上に上がった私の体はあっという間に黒い水にのまれ、浮いているのがやっとでした。「流されたら死んでしまう。死にたくない。」と必死に職員室の台所の間仕切りの板につかまっていました。2メートルのところで波が引いてくれたので、命だけは取り留めることができました。何にぶつかったのか記憶はありませんが身体中あざだらけ、2週間後に気付いたのですが肋骨が1本折れていました。時計の針は3時30分を指して止まっていました。

今回の震災で反省すること、教訓にすべきことはたくさんあります。今、幼稚園ではいかに早く高台に全員逃げるかが課題です。繰り返し何度も避難訓練を行い、子供たちに自分の命を守ることの大切さを伝えています。災害はいつやってくるか解りません。「津波てんでんこ」(てんでんこ・・・それぞれという意味です)という言葉があります。地震が来たら津波が来ることを考えて、それぞれが安全な場所にすぐに逃げて自分で自分の身の安全を守りなさいということです。震災後たくさんの方々から支援をいただき、幼稚園も再建できました。

「手を洗おう会」の皆様から、たくさんのハンドソープや石鹸をいただき、また支援物資をいただき、本当に感謝の気持ちでいっぱいでした。「手を洗おう会」の皆さまが幼稚園にいらしたときは津波の被害にあった葦の芽星谷幼稚園の園児と合同で保育をしていた時で、約320人の園児が6クラスとホールにいました。震災以後の大混乱の中、無我夢中で毎日を送っている私たちは、ともすれば注意が散漫になりがちだった衛生面、特に「手洗いの大切さ」に気づかさせてくれたのも「手を洗おう会」の皆様でした。

その後も、ご支援いただいている石鹸で年少組から年長組まで、 全員で活動等を行った後には必ず手洗いを励行しています。お陰 様で今年の冬は、周囲では学級閉鎖の声が聞こえる中、葦の芽幼 稚園も葦の芽星谷幼稚園もインフルエンザで学級閉鎖することも なく、みんな元気で寒い冬を乗り切ろうとしています。風邪やイ ンフルエンザなど、病気を引き起こす感染症の多くは、"手"を



介して体内に侵入することが多いと言われています。風邪やインフルエンザに罹患しないよう、今後も「手洗い活動」は幼稚園で定着させていきたいと考えています。(2014年3月)

盛夏の講演「宇宙プラズマと未来のエネルギー源、核融合」

山田 雅章 博士 (プリンストン大学プラズマ研究所フェロー)

(東大大学院特任教授)

人間がアフリカから外へ歩み出してから十万年たちましたが、常に空を見ながら我々は、何処からきたのだろうと考えてきました。地球が宇宙の中心ではなく地球が太陽の周りを回っていると分かったのはまだ500年前くらいの事です。太陽系は直径十万光年の銀河系(天の川)星団のごく一部で、その外にはものすごい数の星団があると言う事が分かっています。最近はビックバーンによりこの宇宙ができてから138億年と言う事で科学的な検証がなされています(*1)。



今のところ宇宙の構成は70パーセントがダークエネルギー(暗黒エネルギー)、24パーセントがダークマター(暗黒物質)からなり、残りの6パーセントが普通の物質で成り立っており、目に見える大半のこの普通の物質のほとんどがプラズマ状態にあります。

図1:銀河系の外にある星団

宇宙のプラズマといえばあまりにも専門的に聞こえますが、実は私たちを取り巻く現実の世界。 地球上の全ての生物が恩恵を受けている太陽では、中心部で起こる核融合が熱源でその表面の大 気は、超高温のプラズマ状態になっています。

プラズマとは:

温度が上昇すると、氷(個体)から水(液体)に、水からガス(気体)にと状態が変化しますが、気体の温度がさらに上昇すると気体の分子は分離し原子となり、原子の原子核の周りを回っていた電子が原子からはじき出されて、正イオンと負電子に分かれます。この電離によって生じた荷電粒子を等量に含む中性のガス(気体)がプラズマであります。

自然界のプラズマ:

自然界には、地球のエネルギーの源である太陽、それから噴き出コロナ、惑星、恒星などの星の間に存在する荷電粒子、地球を取り巻く電離層、極地の空を彩るオーロラ、真夏の積乱雲から走る稲妻など、さまざまなプラズマが存在します。

太陽の熱源とプラズマ:

中心部では水素 4 個が集まり、ヘリウムになる核融合が起こっています。この核融合反応が太陽のエネルギーであります。

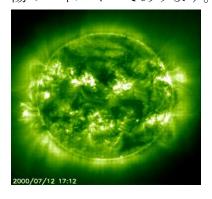




図2: ソーラーフレア (爆発) & プロミネンス(紅炎)

太陽は1ヶ月に一回転自転しており、太陽のフレア(爆発)によって出来る太陽風によって惑星間空間磁場(Interplanetary Magnetic Field)の強さや向きも変動し、太陽風と地球磁場の反応によってオーロラというプラズマ現象が起こり、雷もプラズマ現象の一つです。

太陽風と磁気圏:

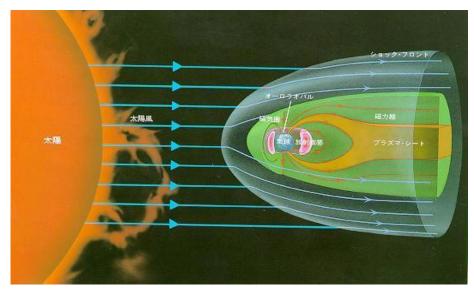


図3:太陽風と地球磁気圏

太陽からは、電気を帯びた陽子や電子などの荷電粒子がたえず流れ出し、この荷電粒子を含んだ流れを「プラズマ流」と呼び、プラズマ流は通称「太陽風」と呼ばれますが、地球磁場と反応してオーロラを発生させます。

人間が作る核融合プラズマ:

核分裂炉はウランやプルトニゥムの核分裂反応を利用しますが、非常に放射性の強い危険物質を生成し、核反応自体が非常に不安定で安全性に問題があるのは周知の事実です.一方核融合炉では、高温のプラズマを使い重水素をヘリウムに変換する核融合反応を利用しますが、放射性の強い危険物質を生成せず、安全性は遥かにすぐれ夢のエネルギー源と言われます。しかしこの高温プラズマは、(ゼリーの様に)形の定まらない高温ガスを閉じ込めなければならず、なかなか難しく、まだ商業ベースに乗るまで時間がかかりそうです.現在ITER(International Thermonuclear Experimental Reactor)と称し、フランスでヨーロッパ、米国、ロシア、中国、韓国や日本が協力し合い、一億度から十億度を生成するトカマック(核融合炉)を使った研究実験が行われています。

この理想的なエネルギー源を実現する為、今後も世界の科学者が長期的視野で、おおいに協力する事が望まれます。

最後に喜太郎(高橋正則)作曲のBGMでのプロミネンス噴出の太陽フレア (1950年) とオーロラの映画を見て頂きます。

*1 (ちなみに仏教では、お釈迦様の入滅まで、これから56億年かかると言われますが、 宇宙の始まりからお釈迦様が生まれるまで同じような年が経ったとすると宇宙の歳は11 2億年という事になりこれが化学で検証された数値に非常に近いのにびっくりしますが、なかなか興味深いものがあります。)

-2013年7月12日 表参道「ウイメンズプラザ」での講演内容から一

税所篤快氏講演会 2013年11月24日

一世界の子供からやる気を引き出すーより

税所氏は現在早稲田大学の現役大学生ですが、学業と併せて世界五大陸を目標に、少数民族、過疎地等の社会的地位は低いが志の高い子供達

の大学進学の支援事業を展開しています。同氏の事業は「DVD による学習」として新聞やテレビ等を通して広く知られている時の人です。

講演会は、「手を洗おう会」の理事であり、税所氏とはハンガリーのロマ族の子供たちの学習支援プロジェクトを一緒に進めている野村舞衣さんの司会で進められました。

講演に先立ち、「手を洗おう会」の古屋理事長から主催者としてのお礼と、当会の沿革と活動概要の説明と共に途上国の子供たちに対する支援活動において志を同じくする税所氏の活躍に対し敬意と期待が述べられました。税所氏の講演は、冒頭に参加者全員の自己紹介と参加動機を 15 秒ずつ話すことから始まり、講演者と参加者の間がとても身近な雰囲気となりました。その後の講演も、同氏の事業に入る動機から現在に至るまでの多くの困難と、それを乗り越えてきた創意工夫の連続がクイズ形式で進められ、参加型の楽しい講演会でした。また講演の後、参加者から多くの質問があり、私たちの「手を洗おう会」の課題等につき税所氏の意見や今後の共同作業に可能性等について活発な意見交換が行われ、参加者一同税所氏の情熱と行動力に魅了され、啓発された 2 時間でした。会員の皆様に同氏の著書をお読み頂くと更なる夢の共有に継がると思います。

文責:星 直代

講演内容:

税所氏は高校時代、勉強に興味が持てず進学が絶望的だった時期があったが、優秀な予備校の先生と出会い、憧れの早稲田大学に合格した経験がその後の事業の発端となっている。

同氏は大学在学中に失恋を味わい、落胆の中で貧困者に対し低利融資をするバングラデシュのグラミン銀行の活動を知り、「これだ」と決めて同国に飛び強引に同銀行のインターンシップ生に加えてもらう事となった。その活動を通じてバングラデシュの多くの問題を知る中で、中央都市の難関大学へのアクセスが困難な地方の若者に着目し、自分の受験時の経験をベースにした教育モデル構築を思い立ち、グラミン銀行総裁のノーベル平和賞受賞者であるユヌス氏に相談した。ユヌス総裁は「やるべし!」と激励してくれた。即刻、首都ダッカの有名予備校を歴訪し、科目別の有能な講師を口説き、講義の DVD 教材を作成して活動拠点の村で7名の生徒を対象に無料 DVD 講座を始めた。結果、初年度は7名中1名が同国の最難関校である国立ダッカ大学に見事合格した。翌年には30名中18人が大学合格という見事な成果を出した。その間運営資金調達の苦労、頻発する停電による PC 授業の問題、盗難事故等の困難を乗り越えて、4年後の現在は千人の受講者とダッカ大学合格者10名を出すに至っている。この他、税所氏はこの DVD 教育モデルをパレスティナ・ガザ地区で学習障害児の教師を対象に指導方法の開発に取り組み、ハンガリーでは欧州の被差別マイノリティで知られるロマ族の子供の教育マニュアル開発を野村舞な理事と共同で進めている。税所氏を中心とする8名の中核メンバーは、今後アジア、アフリカへの活動展開を目指している。

税所篤快氏の著書:「最高の授業を世界の果てまで届けよう」 出版社―飛鳥新社 「前へ!前へ!前へ!」 出版社―(株)木楽舎

セネガルにおける活動報告

今回のセネガル活動報告では、2002年、 ダカールで誕生:その誕生は、同年11月、 リベリテサンク小学校で各クラスに手洗い セットを供給し、各級長に手洗いを指導する ことから始まりました。



<写真:リベリテサンク校の各クラスの級長とセタルハレのメンバー 2002年11月>

以来苦難の連続であったセネガルセタルハレ(手を洗おう)会に前進があったのでその報告からはじめたいと思います。

これまでなかなか前に進めずにいた要因は、いくつかあります。

大きな要因は NPO として登録するための申請手続きを行った後、現地の行政上の手続きの遅れから、 仮登録の状態が 2 年近く続いていたことにあるでしょう。

正式に登録されていなければ、国や自治体へ助成金を申請したり、企業へ募金を募ることも出来ません。大きなイベントを企画するのも難しくなります。実際、2013年度の活動の中には、手洗いの意識向上を目的とした映画上映を各支援校で行う計画が盛り込まれていましたが、それも計画倒れにおわってしまいました。

それでも、正式な登録が完了されるまで、セタルハレは前進のための出来る限りの努力を続けてきました。会を認知してもらうために、会のオリジナルカレンダーを作成し、公的機関に配布したり、教育省をはじめ、いくつかの教育関係機関の責任者を表敬訪問したりしました。又、駐セネガルフランス大使館や南アフリカ大使館も訪問し、経験豊富な国際協力の担当者からアドバイスを受け、訪問の後には、理事会を開き今後の会の方向性について話し合いを続けてきました。

そして、今年5月に入り、2年間、待ちに待っていた許可証が下りました! 今回は理事長マムール・ジョム氏より以下の感謝のメッセージが届きましたのでご紹介します。

日本の会員の皆さま方の絶え間ない支援なくしては、今の会はなかったでしょう。我々はこれまで 根気強く活動を続け、やっと今、努力が実を結ぶことが出来ました。役所の手続きでは永遠に待た され続け、会の活動を行っていく上でも限界を感じはじめていましたが、セタルハレがついに公的 に承認されました。日本の会員の皆さまには心から感謝申し上げます。

小さな一歩ですが、大きな飛躍を遂げるための第一歩です。現在セタルハレは、今後の具体的な行動計画を練りなおしているので、引き続き暖かく見守っていただければと思います。

セネガル担当 澤村さち子

2013年度 特定非営利活動に係る事業 会計収支計算書 2013年1月1日 から 2013年12月31日まで 特定非営利活動法人 手を洗おう会 aphw (単位:円) (経常収支の部) 経常収入の部 1 会費·入会金収入 会費収入(3000円*2013年度139名,2014年度以降84名) 669,000 669,000 2 事業収入 (4) 国際協力事業に関する事業費 116,000 ア 文化講演会事業収入(初夏と秋) 3 寄付金収入 ベトナムからの戻り金 46,225 寄付収入(講演会) 91,900 寄付収入(その他) 79,280 333,405 その他の収入 利息収入 1,013 1,200 雑収入 2,213 経常収入合計 1,004,618 Ⅱ 経常支出の部 1 事業費 衛生に関する生活環境の改善 65,208 (1) 支援事業 衛生面に関する生活環境の調査 (2)4,509 研究事業 (3)生活環境改善教育事業 1,127 国際協力事業 (4)139,855 (5)生活環境改善教育および国際協力に 28,647 関する普及啓発事業 (6)その他、この法人の目的を達成する 必要な事業 事業費計 239,346 2 管理費 82,555 ア会場賃貸費 イ通信運搬費 150,910 ウ印刷製本費 52,325 工事務用品費 79,142 才交通費 35,220 力事務局費用(法務、税理相談料など) 230,467 キ雑費 9,726 ク租税公課 7,200 管理費計 647,545 経常支出合計 886,891 経常収支差額 117,727 (正味財産増減の部) V 正味財産増加の部 1 資産増加額 当期収支差額(再掲) 2 負債減少額 252,000 前受金(会員会費2014年度75名・2015年度以降9名分) -252,000增加額合計 当期正味財産増加額(又は減少額) 117,727 前期繰越正味財產額 7,810,694 当期正味財産合計

上記、2013年度の会計収支計算書を監査結果、妥当かつ正確であることを認めます。

2014年 月 日 NPO手を洗おう会aphw 監事 白石正明

*2014年度の会費納入は5ページをご覧ください(この会報は2013年度会費納入の皆様に配信しております)

事務局から:諸般の都合で会報発行が遅れましたことをお詫び致します。

2014年9月

会報担当 北島桂子

钔